

令和3年度実質当初予算 危機管理監室主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・ 近年全国各地で頻発する大規模災害に備え、自助・共助からなる地域防災力を高めるため、防災士の育成・質の向上を図るとともに、県民一斉防災訓練や消防団の充実・強化、火山防災対策の推進など、防災対策の充実・強化に取り組む。
- ・ 原子力防災対策については、原子力防災計画に基づき、防災資機材の計画的な整備など、原子力防災体制の強化に取り組む。

◎重点主要施策の概要

- 自主防災組織のリーダーとなる防災士について、令和6年度までに12,000人、うち女性防災士についても3,000人を目標として育成に取り組むとともに、防災士スキルアップ研修を実施するなど、防災士活動の質の向上を図る。
- 新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設・運営研修を実施することにより、避難所における感染症対策の強化を図る。
- 大学等と連携し、学生が防災活動に参加する機会を創出することにより、若い世代の自主防災活動への参画を促進する。
- 県民一斉防災訓練（シェイクアウトいしかわ）や、「災害への備え」を促す防災キャンペーンを実施するなど、県民一人ひとりの災害対応力と防災意識のさらなる向上を図る。
- 活火山である白山の火山防災対策の着実な推進を図る。
- 住民の安全・安心を守る地域防災の要である消防団の充実・強化を図る。
- 原子力防災対策として、30km圏内の市町等において、防災資機材等の計画的な整備を行うなど、原子力防災体制の強化を図る。

令和3年度実質当初予算 危機管理監室主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ 防災・減災対策など安全で安心なくらしの実現 (1) 災害に強いまちづくり・地域づくり ・ 防災総合訓練費	1,665	防災総合訓練の実施(穴水町内) 大規模災害を想定し防災関係機関と地域住民等が一体となった訓練
・ 災害危機管理アドバイザー設置費	670	災害発生時の対応や平素の危機管理への専門的助言など
・ 防災士育成強化・資質向上推進事業費	37,125	自主防災組織の充実・強化 防災士の育成 33,000 千円 防災士活動のスキルアップ研修の実施 3,855 千円 防災士表彰の実施 270 千円
・ ④ 新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設・運営研修事業費	2,000	感染症対策に特化した避難所開設・運営研修の実施
・ 大学と連携した自主防災活動活性化事業費	2,000	④ 防災活動に取り組む大学の活動をまとめた事例集の作成、 大学と自主防災組織が連携したワークショップ・共同訓練の実施
・ 県民一斉防災訓練費(シェイクアウトいしかわ)	1,400	県民が各地で一斉に安全行動をとる「県民一斉防災訓練(シェイクアウトいしかわ)」の実施 実施日時:令和3年7月7日(水)11時(予定)
・ 企業と連携した防災自助力強化事業費	1,600	協賛店舗での防災キャンペーンを通じた家庭内備蓄等の推進
・ 白山火山防災対策費	5,000	登山届の提出促進に向けた周知啓発、スマートフォンによる登山届の運用、火山防災訓練の実施など
・ 総合防災情報システム等管理運営費	123,295	総合防災情報システム管理 48,904 千円 防災行政無線等管理 74,391 千円
・ いしかわの消防団充実強化・支援費	17,449	装備の充実 5,000 千円 救助資機材・安全装備品等の整備に対する助成 団員の確保・活性化 12,449 千円 一斉広報キャンペーンの展開、女性消防団員の活動活性化支援等
・ 消防防災施設等整備費	2,000	小型動力ポンプ・救急資機材整備等に対する助成
・ 航空消防防災体制運営費	217,189	消防防災ヘリコプター「はくさん」の運航 運航費等 196,231 千円 点検整備費 20,958 千円
(2) 原子力防災体制の整備 ・ 原子力防災対策費	218,162	防災対策の強化 防災用資機材の整備、原子力防災訓練の実施、緊急時連絡網管理等
・ 原子力安全対策費	534,073	環境放射線監視機器の更新等 334,735 千円 緊急時放射線モニタリング機器の整備等 56,976 千円 環境放射線監視業務 137,362 千円 原子力環境安全管理協議会の運営 5,000 千円

危機管理監室